

2019（平成31）年度第1回国立大学法人静岡大学学長選考会議議事録

日 時 平成31年4月24日（水）16時00分～16時50分
場 所 事務局棟4階学長応接室
出席者 栗村、塩田、鳥居、細井、日詰、近藤、川田、森田の各委員
陪 席 鈴木監事、手島事務局長、田中総務部長
事務局 伊藤総務課長、中村総務課副課長

I 報告事項

1 学長選考会議学内委員について（資料1）

事務局から、資料1により、「静岡大学学長選考会議規則第3条第1項第2号委員である教育研究評議会が選出する評議員4人」について、4月17日に開催された教育研究評議会において、4人の評議員（日詰人文社会科学部長、近藤情報学部長、川田工学部長、森田農学部長）が選出された旨、報告があった。

なお、事務局から、大学のガバナンス改革の推進について（中央教育審議会審まとめ）「監事の役割の強化」において、学長の選考方法等、ガバナンス体制等の監査が提言されていることを鑑み、鈴木監事及び村松監事が本会議に陪席する旨、紹介があった。

II 前々回及び前回議事録の確認（資料2）（資料3）

資料2により、平成30年度第6回（平成31年2月1日）（メール審議）議事録（案）を、資料3により、平成30年度第7回（平成31年3月14日開催）議事録（案）を承認した。

議長から、平成31年3月14日臨時学長選考会議を開催し、学長選考会議として次の3つの要望を学長に申し入れ、学長から「当然である、すべて受け入れる」と回答を受け、任務は果たしたと考えている旨、報告があった。

- ①静岡大学教職員を含めステークホルダーの納得が得られるよう、丁寧なコミュニケーションを図ること。
- ②静岡キャンパスの教育研究活動の活性化に向けた議論を早急に行うこと。
- ③大学間、キャンパス間、学部間の壁を低くし、共同プロジェクト等の連携・推進を加速させること。

議長から、静岡キャンパスの6部局長による要望書（3月29日）及び請願者代表者による文書（4月3日）があったので、議長から、4月10日に上記3点等を学長に助言した旨、文書で回答したとの報告があった。

さらに、議長から、2018年度静岡キャンパス部局長代表5人及び請願署名代表3人による質問状及び要望書（4月16日）があったが4月10日に回答したもの以上のものはない旨、回答したいとの提案があった。日詰委員より、質問状及び要望書は、これまでの学長の姿勢について学長選考会議がどのように受け止め、どのような見解を持っているのか聞きたいということであり、塩田議長の個人的見解でもよいので、それを文書で求めたいという趣旨であるという発言があったが、審議した結果、提案どおり回答することとした。

Ⅲ 審議事項

1 副議長の選出について（資料1）

事務局から、資料1により、静岡大学学長選考会議規則第4条第1項で本会議に議長及び副議長1人を置き、委員の互選により選出すること、議長は学外委員、副議長は学内委員からこれまで選出されてきたこと、また、継続した審議をするため昨年度委員だった者を副議長にしていたことについて説明があり、審議の結果、川田委員を副議長に選出した。

2 学長の業績評価（中間評価）について（資料4）（資料5）

議長及び事務局から、資料4及び資料5により、今年度実施する学長の業績評価（中間評価）について説明があり、次のことを確認した。

- 平成30年度に実施した試行的評価「平成29年度の業績の確認」を基に平成29年度及び平成30年度の2年度分の業績評価（中間評価）を9月までに実施する。
- 本会議が学長に対するヒアリングを実施する。
- 事務局において、評価スケジュール（案）を作成し、対象期間に係る資料を用意する。
- 平成30年度に実施した試行的評価は公表していないが、今年度実施する業績評価（中間評価）の概要は本学のウェブサイト公表する。

Ⅳ その他

1 本会議の日程について（資料6）

事務局から、資料6により、今年度の本会議の開催日程について説明があり、必要に応じてメール審議を行う旨、協力依頼があった。

以上